すぎなみ大人

Jukusiteru?

TIMES 10

平成23年2月25日発行

発刊元:かわかみなと(非営利活動団体)

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317 - 6621 FAX 3317 - 6620

まつりの後はふりかえり…

各自の実感を「見せ」あって、互いの思いを受けとめる

昼コース第17回目、今回は活動のふりかえりの時間、1月30日に実施し た「だがしや楽校・福まつり」の感想を、各自が自由なスタイルで書き綴って きた。それを全員分コピーしてまわし読みをしていく。一人ひとりのものを読 んでみると…そこには、実感・手ごたえ・当日の様子・だれと何を話したか・ 経験を通して考えたこと・課題・疑問・今後の悩み・これからの自分...。そん なことが率直な言葉とともに綴られていた。

その後には、全員が今度は話し言葉でみんなに向かって、一年間を振り 返っての感想や今後の展望などを伝えていく。ここで...私にとってとても興 味深かったのは、一人ひとりが言葉を述べていくときに、「今度は自分の地 域で何ができるだろうか」、「これからはこんなことをしてみたい」など、未来 に対して前向きな言葉が多かったこと。そして仲間のそうした言葉を聞きな がら、みんなが微笑む。

ソーシャル・キャピタルなんて言葉がある。日本語では「社会関係性資 本・人間関係資本」などと訳され、人と人がつながりあっていることは、社会 の中で貴重な資源である、という考え方だ。私は受講のみなさんの様子を 見ていてこの言葉が思いついた。誰もが同じ価値観であるわけではなく、自 分の考え、思いを率直に伝え、しかも相手の言葉に耳をかたむける。ある人 が何かを提案したら、それをしっかりと受けとめる人がいる。ただ会釈をする だけの関係ではなくて、こうした関係のこそソーシャル・キャピタルという言 葉があてはまるのであろう。ほんの少しのきっかけ・偶然がこのメンバーの 中に飛び込んできたら、すぐにでもこのメンバーで何か新しいことがはじま る。そんな予感を感じさせて〈れた一日であった。 (記事:川上)

3月5日 成果発表会の内容

11.2.18

<昼コース> 持ち時間30分 全体進行1名

コースの概要・一年間の流れ説明 (3分)

自分の学び発表

- ・3名が自分自身の学びを語る
- ・語り手一人につき、コメント補助者がついて、話 を引き出す・まとめる

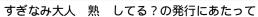
上会れてした。09年度は、たかい大学校」の意味も内容も なかかり方もするとりで、愛生の多くは、緑育での架枝は焼けない、あい人のアピカールと知る事には、取する、びかて 「本のか」というものを知りましたかここという様に本地を12の 銀丁加州的領如し村。 今年在横山墨阁につれていた大き竹楼初の野栗を頂い天大高な人れ

た神市公園の練馬を郷土館に鷹E、内公開イバントを見学を こい、しにたり、 それからなる。 禁失すい神田や牙稲田でもサク からないと言うと、わかわず変達の古本屋デ新に案内して下エリ フいた、三軒目で見つけた時は足立さんに風神する気持ちで

けなれても、なった人をの先輩として数えていただすたい事かっ

今日は、全か終われ、首様とお話かしたいといっています 大与浅龙





この新聞は事務局スタッフ川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。

